

## OM-D と LS-100 を組み合わせて、高音質でムービーを記録。

お使いの OM-D(E-M1、E-M5 MarkII)でムービー撮影をする際、LS-100 を外部マイクとして接続すると、高音質で収録できます。発表会や演奏会、ライブなどに使用すれば、原音に忠実に臨場感あふれるムービー再生を楽しめます。

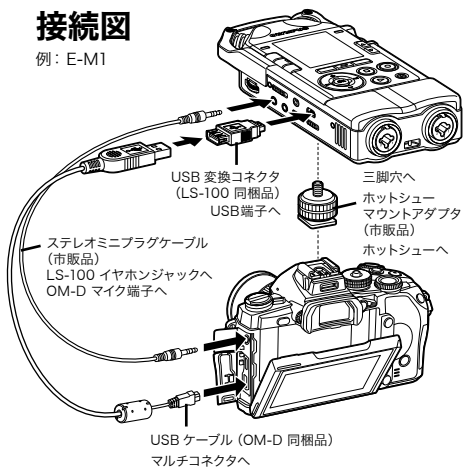
機能を使うためには OM-D と LS-100 のファームアップが必要です。ファームウェアのアップデートについては下記のホームページをご覧ください。(お使いのモデルのバージョン確認のしかたは取扱説明書をご覧ください)

<http://www.olympus.co.jp/jp/support/cs/index.html>

<ファームウェアの最新バージョン> E-M1: ver 4.0 / E-M5 Mark II: ver 2.0 / LS-100: ver 1.4

### 接続図

例: E-M1



- 減衰抵抗なしのステレオミニプラグケーブル (市販品) を使うときは、LS-100 のイヤホンジャックとカメラのマイク端子を接続してください。

#### ご注意

破損の原因となりますので、USB変換コネクタやケーブル接続部分に強い力を加えないでください。

## 1 カメラのムービー撮影を開始する

- 撮影の開始と同時に録音が始まります。
- ムービーの撮影方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

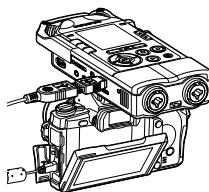
## 2 カメラのムービー撮影を終了する

- 撮影の終了と同時に録音が停止します。
- レコーダーには、カメラと同じファイル名で音声ファイルが保存されます。

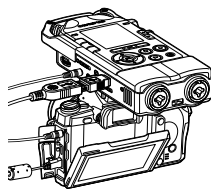
### スレートトーン

ムービー撮影中に基準となる音 (スレートトーン) を記録しておく、撮影後の編集で動画と音声の同期がとりやすくなります。

USB ケーブルで接続:



USB ケーブルとステレオミニプラグケーブルで接続:



## 1 ムービー撮影中にカメラの OK ボタンを押す

- プーとビーブ音が録音されます。

## 2 カメラのムービー撮影を終了する

- カメラのムービー撮影終了後、市販の動画編集ソフトウェアを使ってムービーファイルの音声とレコーダーで録音した音声ファイルを差し替えると、より高音質な音声になります。
- 動画の編集方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

USBケーブルのみで接続した場合、スレートトーンにタイミングの誤差が生じます。

カメラの取扱説明書「オリンパス製 IC レコーダー LS-100 を使ってムービー音声を録音する」も合わせてご覧ください。